

主な事業紹介

これが今年度の三芳町だ！



本年9月、いよいよ、「未来創造拠点施設」の供用を開始します。公募と住民アンケートにより、「ルミナみよし」に決定。教育・子育て、健康・福祉、芸術文化、行政の機能を併せもち、そこに市民活動や情報・ビジネスが交わり、町の未来を創造する拠点となります。小学校、図書館、公民館機能を引き継ぐ地域交流センター、児童館、子育て支援センター、出張所などを複合的に配置。ふれあいセンターの機能移転も行い、子どもから高齢者まで、多くの人へ多様な住民サービスを提供します。また、供用開始に合わせ、様々な開館記念イベントを企画します。

PICKUP 01 未来創造拠点「ルミナみよし」供用開始 ～集い、学び、育つ～輝く未来創造拠点



本年度は、日本ユニセフ協会 CFCI 委員会より「ユニセフ日本型 CFCI 候補自治体」の承認を受けた、実践自治体承認のための評価を受ける年です。承認されれば、国内7番目、埼玉県では初の自治体となります。昨年度の「子どもまちづくり会議」で子どもたちが考え、策定した「子どもにやさしいまちづくり宣言」を全ての施策の基礎に置き、取り組みを進めます。また、子どもたちの単なる意見表明の場に留まらず、子どもたちが考えるまちづくりに自ら取り組み、実現する機会となる「子どもまちづくり事業補助金」も引き続き実施します。

PICKUP 02 全てのこどもが、将来も幸福な生活を 子どもたちと共にまちづくりを推進



三芳スマート IC に隣接するエリアに計画している「道の駅」は、地域の活性化、情報発信、交流、防災・交通結節など、これからの町の発展に必要な役割を担うとともに、これまで町を訪れる機会がなかった多くの人が来訪し、地域の賑わいを生み、町の魅力を広く発信する機会につながることを期待されます。世界農業遺産やガーデンツーリズムなど、三芳町が持つ魅力を発信し、町内外、国内外の交流を生み出し、未来にわたって持続可能な町につながる拠点として、住民の皆さんの声を聴きながら、整備に取り組みます。

PICKUP 03 「道の駅」の整備で地域の活性化を 地域が持つ魅力を発信！



教育環境の整備

安心・安全な教育環境を

今年度、藤久保小学校の新校舎への移転で全小中学校の体育館の空調が整います。また、今年度は、各中学校に「ウォーターサーバー」を設置。小中学校体育館入り口付近に「AED」を設置し、安心・安全な教育環境を整えます。



教育への経済支援

子育て家庭の負担軽減

小学校では、国の給食費無償化基準額の超過分を町独自の補助で無償化し、中学校では、給食費の補助を行います。また、就学援助世帯については、制服代について、町独自の上乗せ補助で負担軽減を図ります。



未来を切り拓く力の育成

子どもの権利を尊重

子どもが主体となって学校のきまりを見直し、自分たちの考えを町へ提言する「未来探究プレゼンテーション大会」を実施。子どもが意思表示する場の設定等により、社会参画していくとする態度を育成します。



子育て支援

子どもの居場所創出

未来創造拠点施設に、児童館や子育て支援センターを複合的に配置した「子どもセンター」を設置。また、保育環境の整備として、保育所等に通っていない乳幼児を対象に、「こども誰でも通園制度」を開始します。



よみ愛・読書のまち

豊かな読書活動を

中央図書館は、未来創造拠点施設に移転し、施設の核となります。住民一人当たりの貸出冊数は、24年連続県内第1位。「よみ愛・読書のまち」をさらに推進し、生涯にわたり読書の喜びを共有できるまちづくりに努めます。



芸術文化の推進

心豊かに充実

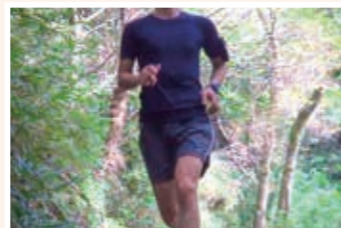
芸術文化に触れる機会の芸術祭をより充実させ、活発な住民活動の場「みよしアフタヌーンコンサート」を毎月開催。「芸術文化推進基本計画」の推進プログラムを着実に実施していきます。



スポーツの促進

スポーツで共生社会推進

パラスポーツ等の体験会やアスリートの講演会等を実施し、スポーツを通じた共生社会の推進に取り組みます。また、幅広い世代が参加できる、平地林等をフィールドにした新たなスポーツ事業を企画します。



文化財の普及・啓発

町の歴史を発信

歴史民俗資料館が開館40周年を迎える今年、「資料館まつり」を開催。また、未来創造拠点施設での「郷土芸能のつどい」開催や町内小中学校と連携した授業などで、郷土の歴史や文化を発信します。



持続的な国際交流

グローバル社会に対応

マレーシア、韓国、オーストラリアに中学生を派遣。オンラインとオンラインで交流を実施します。また「(仮称)国際交流サポーター制度」で通訳ボランティアやホストファミリー協力など住民参加の国際交流を推進します。

